

## 令和 6 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 東淡路小学校協議会

## 1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。

今年度 4 月より、校舎建て替え工事が本格的に始まり、次年度には創立 100 周年も控えている。今後も、学校、保護者、地域が連携して子どもを見ていきたい。

## 2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

## 年度目標：【安全・安心な教育の推進】

## 全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 76% 以上にする。（前年度 75.8%）→今年度 79.7%
- ・小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 70% 以上にする。（前年度 69.9%）→今年度 77.5%

- ・学校の自己評価結果は概ね妥当である

## 年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

## 全市共通目標（小学校）

- ・小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。（1 ポイント=0.01）（前年度国語 3 年 0.98、4 年 1.00、5 年 1.01）

→今年度国語 4 年 0.99↑、5 年 1.04↑、6 年 0.98↓

- ・小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。（1 ポイント=0.01）（前年度算数 3 年 1.01、4 年 0.97、5 年 1.04）

→今年度算数 4 年 1.11↑、5 年 1.17↑、6 年 01.06↑

- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 70% 以上にする。（前年度 69.0%）→今年度 66.1%

- ・学校の自己評価結果は概ね妥当である。

## 年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

## 全市共通目標（小学校）

## 【教育 DX】

- ・授業日において、児童の 8 割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の 50% 以上にする。

→今年度 15.7%

### 【人材確保・組織づくり】

- ・第2期「学校における働き方改革推進プラン」に掲げた、教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を73%以上にする。  
(前年度75%) → 今年度 89.3%

- ・学校の自己評価結果は概ね妥当である。

### 年度目標：【その他】

- ・年度末の学校アンケート（保護者対象）で、「学校は、教室や運動場などの環境を整備するよう努めている」への肯定的な回答を前年度より1ポイント以上増加させる。

(前年度89.3%) → 今年度 94.2%

- ・学校の自己評価結果は概ね妥当である。

### 3 今後の学校園の運営についての意見

- 「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対する、肯定的な回答の割合が下がっているが、校舎改築工事の影響も大きい。運動場などの環境整備も実施し工夫はしていると思うが、来年度も体力向上のための取り組みを続けてもらいたい。
- 学習者末端と関連して、ネットリテラシーは指導しているのか。もちろん各家庭の価値観などもありルール作りは難しいが、携帯会社の出前授業なども活用して指導してみてはどうか。
- デジタル化が進んでいるが、紙の本での読書も大切にしてほしい。